

2009年度 第1四半期 決算概要

- I. 第1四半期 連結業績概要
- II. 部門別情報
- III. 主要商品・デバイスの状況
- IV. 2009年度 連結業績見通し

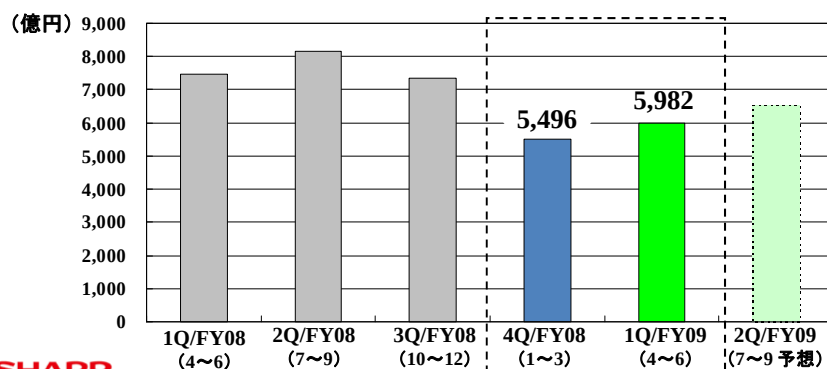
シャープ株式会社

2009年7月30日

I. 第1四半期 連結業績概要

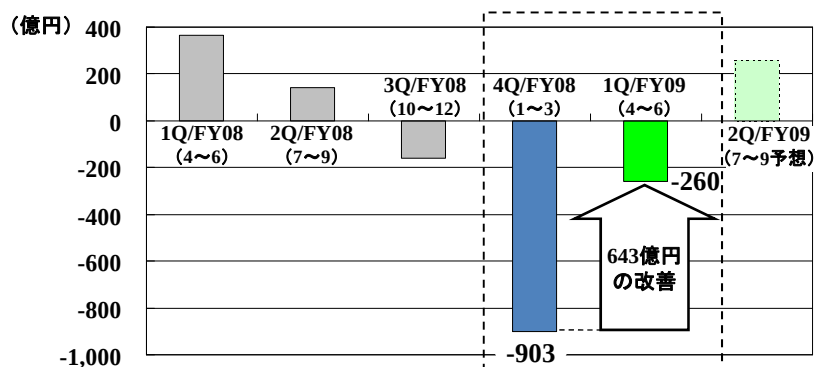
四半期別 売上高推移

	2008年度 第4四半期	2009年度 第1四半期	前期比
売上高 (億円)	5,496	5,982	108.9%



四半期別 営業利益推移

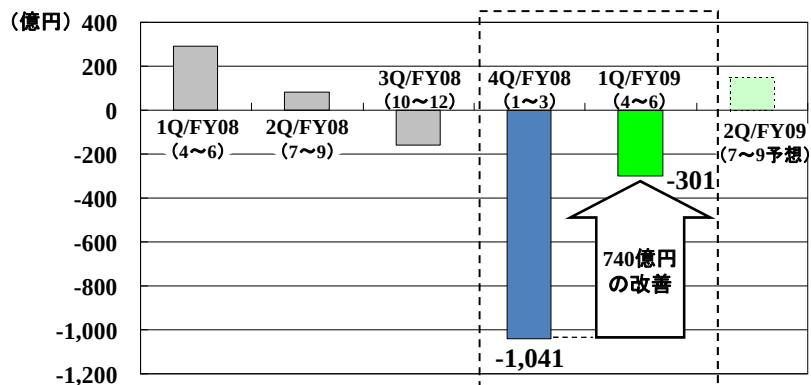
	2008年度 第4四半期	2009年度 第1四半期	増減
営業利益 (億円)	-903	-260	+643
利益率	-16.4%	-4.4%	



SHARP

四半期別 経常利益推移

	2008年度 第4四半期	2009年度 第1四半期	増減
経常利益 (億円)	-1,041	-301	+740
利益率	-18.9%	-5.0%	



SHARP

主な特別損失の項目

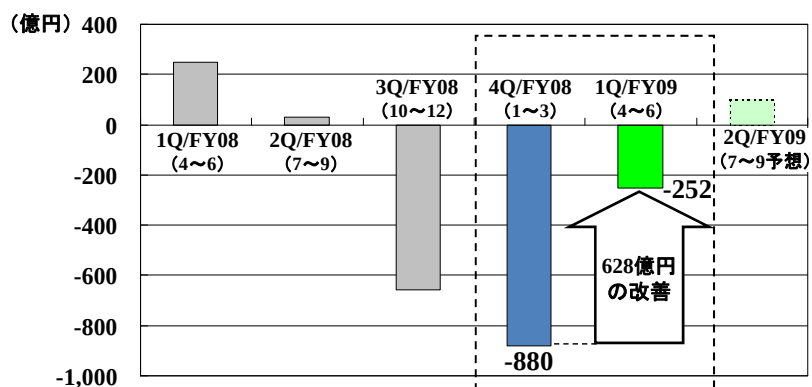
(単位: 億円)

	2008年度 第4四半期	2009年度	
		第1四半期	増減
事業構造改革費用	356	96	-260
特別損失合計	506	102	-404

SHARP

四半期純利益推移

	2008年度 第4四半期	2009年度	
		第1四半期	増減
四半期純利益 (億円)	-880	-252	+628
利益率	-16.0%	-4.2%	



SHARP

Ⅱ. 部門別情報

部門別売上高

(単位: 億円)

		2008年度 第4四半期	2009年度		
			第1四半期	増減	前期比
	AV・通信機器	2,717	3,116	+399	114.7%
	健康・環境機器	558	577	+19	103.4%
	情報機器	778	677	-101	87.0%
	エレクトロニクス機器	4,054	4,371	+317	107.8%
	液晶	1,761	1,761	-	100.0%
	太陽電池	261	348	+86	132.9%
	その他電子デバイス	529	602	+73	113.8%
	電子部品等	2,552	2,712	+159	106.3%
小計		6,607	7,084	+476	107.2%
消去又は全社		-1,110	-1,101	+9	-
合計		5,496	5,982	+486	108.9%

SHARP 部門別売上高は、セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

部門別営業利益

(単位: 億円)

		2008年度 第4四半期	2009年度		
			第1四半期	増減	前期比
	AV・通信機器	-377	-133	+244	-
	健康・環境機器	11	20	+9	182.8%
	情報機器	22	26	+4	118.1%
	エレクトロニクス機器	-344	-86	+257	-
	液晶	-278	-147	+130	-
	太陽電池	-147	-17	+129	-
	その他電子デバイス	-154	-20	+134	-
	電子部品等	-580	-185	+394	-
小計		-924	-272	+652	-
消去又は全社		21	11	-9	-
合計		-903	-260	+643	-

SHARP

Ⅲ. 主要商品・デバイスの状況

(単位:億円)

	2008年度 第4四半期	2009年度	
		第1四半期	前期比
液晶カラーテレビ	1,459	1,391	95.4%
販売台数(万台)	232	200	86.1%
液晶※	1,761	1,761	100.0%
携帯電話	903	1,244	137.8%
販売台数(万台)	199	274	137.6%
太陽電池※	261	348	132.9%
販売量(MW)	90	136	150.7%

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

Ⅳ. 2009年度 連結業績見通し

(単位:億円)

	2009年度			
	第2四半期累計		年間	
	(予想)	前同比	(予想)	前年比
売上高	12,500	80.0%	27,500	96.6%
営業利益	0	-	500	-
経常利益	-150	-	200	-
当期純利益	-150	-	30	-

SHARP

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- (4) 急速な技術革新の中で、シャープが顧客に受け入れられる製品やサービスを提供し続けていく能力
- (5) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き

SHARP